

項番	記載内容（修正前）	反映項目	記載内容（修正後）
①	我が国は本格的な人口減少社会の到来を迎え、地方圏では大幅な人口減少と急激な少子高齢化が進んでいます。また、グローバル化の進展や地域経済の低迷、地方分権の推進など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、地域が知恵を出し、創意工夫をしながら自主的・自律的な地域づくりを進めることが求められています。	・地域特性 ・その他	我が国は本格的な人口減少社会の到来を迎え、地方圏では大幅な人口減少と急激な少子高齢化が進んでいます。また、グローバル化の進展や地域経済の低迷、地方分権の推進など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、 <u>人口が増えるという前提で進められてきた政策のあり方を見直し</u> 、地域が知恵を出し、創意工夫をしながら自主的・自律的な地域づくりを進めることが求められています。
②	本圏域は、石狩川と空知川の流域地帯に位置し、肥沃な大地や水資源に恵まれ、さらには、国定公園や道立自然公園を有する自然豊かな地域です。また、JRや国道をはじめ道央自動車道が接続し、道央、道北、道東を結ぶ交通の要衝となっています。そのような地域で育まれた生活文化、産業や地域固有の風土のもと、地域資源や地域力を高めながら、住民が安全で安心して暮らし続けられる地域社会の形成と魅力ある圏域づくりに積極的に取り組み、人口定住を促進します。	・地域特性 ・地域の強み ・人口定住 ・自治体間連携	本圏域は、石狩川と空知川の流域地帯に位置し、肥沃な大地や水資源に恵まれ、 さらには、 国定公園や道立自然公園を有する自然豊かな地域です。 <u>また、地震や風水害などの災害が少なく、安心とゆとりを持ち合わせているほかまた、圏域内には</u> JRや国道をはじめ、道央自動車道が接続し <u>ており</u> 、道央、道北、道東を結ぶ交通の要衝となっています。 <u>かつては日本のエネルギー産業を支えた産炭地域として発展してきましたが、その後の石炭産業の衰退による地域経済の低迷や急激な人口流出を経験し、現在は高齢化率の非常に高い地域となっています。</u> <u>また、広域行政の取り組みは古く、昭和44年の広域行政圏の指定を受けて以降、多くの広域連携事業に取り組んできています。</u> <u>そのような地域でこうした背景の中で</u> 育まれた生活文化、産業や地域固有の風土のもと、地域資源 <u>やを</u> 活用して地域力を高めながら、 <u>それぞれの特色を生かしながら</u> 、住民が安全で安心して暮らし続けられる地域社会の形成と魅力ある圏域づくりに積極的に取り組み、人口定住を促進します。
③	具体的には、子どもから高齢者まで安心して生きがいと潤いの持てる生活を送ることができるよう、医療や福祉体制の確保、教育環境の充実、適正な廃棄物処理、安全安心な消費生活環境や防災体制の確保など、すべての地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを目指します。	・高齢化対策 ・子育て環境	具体的には、 <u>子どもから高齢者まで安心して</u> 生きがいと潤いの持てる生活を送ることができるよう、医療や福祉体制の確保、教育環境 <u>や子育て環境</u> の充実、適正な廃棄物処理、安全安心な消費生活環境や防災体制の確保など、 <u>すべての地域住民が住み慣れた地域で暮らし続ける</u> ことができる圏域づくりを目指します。
④	また、地域経済の維持・向上を実現するため、地域資源の魅力や地域ブランド情報を発信し、知名度アップや誘客促進、さらには地域雇用の促進を図るなど、地域経済の振興を目指します。	・産業振興 ・雇用促進	また、地域経済の維持・向上を実現するため、地域資源の <u>魅力やを生かした特産品等の</u> 地域ブランド情報を発信し、 <u>知名度アップや化と圏域内外への販路拡大</u> 、さらには、 <u>広域観光による</u> 誘客促進 <u>を図り</u> 、さらには地域雇用の <u>促進を図るなど創出とあわせて</u> 、地域経済の振興を目指します。
⑤	さらに、圏域内外を結ぶ交通ネットワークの維持・確保や生活幹線道路の整備等により、日常の買い物から福祉・医療、学習・文化活動や観光産業など、交流人口の拡大や圏域への人の流入を促進し、潤いと賑わいのある地域づくりを目指します。	・人口定住	さらに、圏域内外を結ぶ交通ネットワークの維持・確保や生活幹線道路の整備等により、日常の買い物から福祉・医療、学習・文化活動や観光産業など、 <u>交流人口の拡大や圏域への人の流入</u> を促進し、潤いと賑わいのある地域づくりを目指します。

二重下線：追加、 ~~取消線~~：削除、 下線：包含